



理事長 田中 信康
(たなか のぶやす)
<プロフィール>
生化学博士
中央大学法学部法律学科卒業。
厚生省(厚生労働省)入省。
保健医療局、健康政策局、
大臣官房総務課等を歴任。
叙勲:平成23年瑞宝双光章受章



企業
訪問

一般社団法人
リプレット基金
事業財団

暖かいメッセージを頂きました!

一般財団法人 リプレット基金事業団 <http://www.ripple-fnd.org>

一般財団法人リプレット基金事業財団からのメッセージ

一般財団法人リプレット基金事業団財団は、「子どもたちが豊に暮らせる未来の創造」を目標に設立されました。環境破壊、自然災害、医療、福祉等の問題改善に少しでも貢献できるようにと、様々な活動を行う中で、2009年に日本介助犬福祉協会との出会いがありそれからの付き合いとなります。先日東京にて、介助犬デモンストレーションをおこなっていただきました。2頭の介助犬(デモンストレーション犬)が、訓練士の指示の下、様々な介助動作をおこなう中で、リクエストが多い動作として、ペットボトルの蓋を開ける、コンビニのおにぎりのフィルムを剥がすという動作がありました。力加減が異なり衛生面にも配慮した細かい動作を目の当たりにし、介助犬の優秀さを実感することができました。また、高齢の介助犬が亡くなるまで身体の不自由なパートナーを守ろうとする、パートナーと介助犬の強い絆を感じさせる映像を視聴しました。視聴後、多くの参加者より「心が震えました」「感動しました。視聴後、多くの参加者より「心が震えました」「感動しました」等の感想が寄せられています。普段、介助犬を目にする機会はありませんが、介助犬への理解を深めることができる、とても良い機会となりました。微力ながら今後とも介助犬の活動を応援していきたいと思えます。

参加者からの感想の一部をご紹介します。

「なんて繊細な動きができるのでしよう!」私は介助犬のデモンストレーションを今回初めて見ましたが驚きと感動の連続でした。介助犬はご主人様が望んでいることを、ちゃんと、してあげられているのか、とても素直なキラキラした目で相手の目をみて確認しています。見学している私まで優しい気持ちになりました。きっとこの子たちは、介助以上のことを相手に与えているのでしょう。介助犬を通して一人でも多くの方が笑顔で毎日を過せるよう、これからも応援していきたいと強く思いました。